

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月3日

【評価実施概要】

事業所番号	0170504054		
法人名	株式会社 ジャパンケアサービス		
事業所名	グループホーム ごきげん清田		
所在地	〒004-0841 北海道札幌市清田区清田1条4丁目3番16号 (電話) 011-887-5511		
評価機関名	社団法人 北海道シルバーサービス振興会		
所在地	〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4階		
訪問調査日	平成19年6月27日	評価確定日	平成19年9月3日

【情報提供票より】(平成19年5月24日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・(平成) 18年 3月 24日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 8人, 非常勤 2人, 常勤換算	9人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	地下1階・地上2 階建ての		1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	110,000 円		
その他の経費(月額)	・水道光熱費20,000円		
敷金	(有) 110,000 円 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(6月 27日現在)

利用者人数	9 名	男性 名	女性 9 名
要介護1	1名	要介護2	2名
要介護3	3名	要介護4	3名
要介護5		要支援2	
年齢	平均 85 歳	最低 77 歳	最高 93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	札幌しらかば台病院・あしりべつ病院・あの歯科医院
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは、近隣に小学校、アパート、住宅があり近くには川もあり恵まれた生活環境の中に建てられている。また、違和感なく周辺にも溶け込んでいる。利用者の入居が昨年9月からで、まだ1年未満の新しいホームであるが既に2回の地域推進会議も開催されている。「あなたらしさをいつまでも」をホームの理念に掲げ、利用者本位の意志を大切に、その人らしく暮らし続けることを、管理者、職員は積極的に熱意を持って支援している。家族の訪問も多く、家族、管理者、職員が一体となって、利用者のよりよい暮らしの実現に取り組んでいるホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>今回が初めての自己評価である。</p> <p>今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営者、管理者、職員は自己評価に積極的に取り組み、サービスの質の確保に活かしているが、全職員が自己評価に参加するまでに至っていない。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>利用者の入居が、昨年9月からでこれまで2回の運営推進会議を開催している。利用者やサービスの状況について、ヒヤリハット事故報告、外部評価の取組みについて話し合いそこの要望などをサービスの向上に活かしている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の来訪時に声をかけ利用者の状況等について個々に報告している。面会が困難で頻度の少ない家族には、電話やFAXで報告しており、定期的な報告をしている。苦情や意見、希望がある場合には、本人や家族が直接職員に話される関係で、それを「苦情版、ひやり、はっと」として記録している。その内容は、職員全員で話し合い運営に反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会行事(草刈り、盆踊り)に参加している。隣りが小学校なので運動会に招待されたり、リングプルを集めて車椅子を購入するためのリサイクル活動にも参加し交流をもっている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理念を基本として、「あなたらしさをいつまでも」その人らしく暮らし続けることを支えていく、利用者本位の意志を大切にしたいホーム理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時研修で理念を伝え、理解してもらうようにしている。また、ミーティングの時にも話し合い理念の共有を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、町内会の行事(草刈り、盆踊り)に参加している。また、隣りが小学校なので運動会に招待されたり、車椅子を購入するためのリングブル回収の活動にも参加し交流がある。		近隣には他にも幼稚園、保育所、区のコミュニティセンターなどがあり社会資源に恵まれているので、より日常的な地域活動への取り組みを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は自己評価に積極的に取り組み、サービスの質の確保に活かしている。しかし、全職員が自己評価に参加するまでに至っていない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者の入居が、昨年9月からであるが、これまで2回の運営推進会議を開催している。利用者、サービスの状況、ヒヤリハット事故報告、外部評価の取り組みについて話し合い、そこでの要望などをサービス向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>本庁担当者と、運営、サービスにあたって協議することは多く、サービスの質の向上に取り組んできたが、区の担当者との関係づくりはそこまで至っていない。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪は、平均週1～2回で来訪時に声をかけ利用者の状況等について個々に報告している。面会が困難で頻度の少ない家族には、利用者の暮らしぶりや健康状態などを電話やFAXで報告しており、定期的な報告をしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情や意見、希望がある場合には、本人や家族が直接職員に話される関係で、それを「苦情版、ひやり、はっと」として記録している。その内容は、職員全員で話し合い運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は、職員の異動や離職には引継ぎ期間を十分に取り、利用者への影響を出来るだけ最小限に抑えるよう配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>採用時に、職員研修を実施している。また管理者は、日常業務の中でも職員指導を行ない職員の育成に取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>2ヶ月に1度、同業者との交流会があり、ネットワークづくりや情報交換を行い、サービス向上に活かしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>サービスを利用する前に、家族と相談しながら可能な限り本人、家族に見学の機会を持ち、利用者と一緒に昼食を取るなどしてホームの雰囲気に慣れることができるように工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、利用者が介護される立場にならぬよう、意図的に利用者から調理、味付けなどを若い職員が教えてもらう場面を設ける等して学んだりする関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の生活の関わりの中で、声をかけたりして本人の思いや意向の把握に努めている。また、具体的に言葉にしづらい思いなども、会話の中でのふとした言葉や表情などから情報収集できるよう取り組んでいる。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者が自分らしく暮らせるよう、本人、家族の要望をきき介護計画の作成に活かしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画期間内に見直しを行なっているが、利用者の状態変化や家族の要望に応じて随時見直しを行なっている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>週1回、母体施設の温泉へ入浴に行っている。また、利用者の通院、一時帰宅等にも送迎を行なっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>これまでの、一人ひとりの受診状況を把握し、本人や家族が希望する医療機関に受診できるように支援している。また、受診時には管理者が付き添い医療機関との連携が円滑に図れるようにしている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末対応については、本人と家族の希望をもとに主治医を交えて話し合いを行い、事業所が対応し得る最大のケアを職員で共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>記録等の個別ファイルは、部屋番号のみの記載で利用者の不必要になった書類は、すべてシュレッターにかけるなどしてプライバシー保護の徹底が図られている。また、理念に基づき常に利用者の視点に立ち、プライドを傷つけない言葉使いや対応をしている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>1日の生活を、時間で区切るような過ごし方はしていない。一人ひとりの体調に配慮しながら、本人の気持ちを尊重してできるだけ個性のある1日を過ごせるように支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その日のメニューは、利用者と相談しながら希望に添えるようにしている。職員は利用者と同じテーブルに着き、会話を楽しみながら食事をしている。また、茶碗拭きも職員と一緒にこなすなど、利用者の力量に合わせた支援をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎週1回、法人内の温泉のある施設へ入浴に行っている。ホーム内の入浴日は決めていないが、希望によって毎日入浴出来るように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴を通して、関心のある事、得意な事を踏まえ希望に添うように努めている。食べたい物や外出など、日常的に選択していただき、楽しみごとになるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の利用者の体調を考慮しながら、散歩やスーパーへの買い物等を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間帯は防犯上の理由から施錠しているが、日中は無施錠である。利用者の外出しそうな様子を察知したら、さりげなく声かけしたり一緒にスーパーへ買い物に行くなど、安全面に配慮して自由な暮らしを支えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急・災害の対応マニュアルの作成はされていないが、消防署による救命救急講習を受けている職員もいる。しかし、全員の職員ではなくホームの避難訓練の実施にも至っていない。</p>		<p>全職員が、自信を持って適切に確実に応急処置、災害時対応ができるように定期的な実践研修会が開かれるように期待したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりの嗜好を献立に採り入れ、栄養バランスにも配慮している。また、水分や食事の摂取量については、大まかに把握している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関、廊下、居間、居室等はすべてバリアフリーで、歩行器での移動が自由に出来るようになっている。居間からは畑が見え、この畑で野菜をつくるなどして、生活感や季節感ある雰囲気工夫している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の居室には、チェスト、机、テレビ、冷蔵庫など、使い慣れたものが持ち込まれ居心地よく過ごせるように工夫している。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。